株式会社　エーワン精密

平成24年６月期決算説明会

平成24年6月期　決算説明会資料目次

		ページ
（1） 当社の事業について		
① 当社の事業展開	……	1
② 事業内容・特色	……	2
③ コレットチャック部門	……	3
④ 切削工具部門	……	4
⑤ 自動旋盤用カム部門	……	5
（2） 決算について		
① 決算の概要	……	6
② 損益の状況	……	7
③ 財務の状況	……	8
④ ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰの状況	……	9
（3） 今後の事業展開		
① コレットチャック部門	……	10
② 切削工具部門	……	11
③ 自動旋盤用カム部門	……	12
（4） 添付資料	……	13

当 社 の 事 業 展 開

経営理念
高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

事　業　内　容

コレットチャックの製造・販売 （昭和51年～）

切削工具の再研磨及び特殊切削工具の製作 （平成１１年～）

自動旋盤用カムの製造・販売 （昭和45年～）

事　業　領　域

旋盤による旋削加工・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

13,500社以上の顧客からリピートオーダーが入る

コレットチャック部門

主に小型自動旋盤で使われるコレットチャックの製造・販売

コレットチャックが主に使われる機械

NC旋盤　2,452億円（2011年生産額）　16,598台

うち　CNC自動旋盤　約 760億円（ 2011年推定生産額）

主なCNC自動旋盤メーカー

シチズンマシナリーミヤノ、スター精密、ツガミ、高松機械

特殊コレットチャック

専用機　779億円（2011年生産額）　3,604台

加工部品

精密機械、産業機械、電子部品、半導体、自動車、航空機、医療機器など

切削工具部門

金属等の切削部品加工に使用される工具の製作・再研磨

加工のイメージ

主に切削工具を使用する機械

マシニングセンタ	4,114億円（2011年生産額）	35,334台
NCフライス、中ぐり盤	175億円（2011年生産額）	628台

使用される工具

超硬エンドミル	338億円（2011年生産額）
超硬ドリル	278億円（2011年生産額）
その他超硬工具	385億円（2011年生産額）

主なマシニングセンターメーカー

オークマ、ヤマザキマザック、森精機、牧野フライス
キタムラ機械、安田工業、松浦機械、東芝機械
三井精機、三菱重工など

加工部品のイメージ

・材料を固定し、切削工具が回転して材料を切削して部品形状を作る

・小物から大物まであらゆる部品加工に使用される

・ロットのある部品の場合、特殊切削工具で量産加工することが多い

加工部品

一般機械、自動車、精密機器、電子部品、航空機、金型

自動旋盤用カム部門

カム式小型自動旋盤で使用されるカムの設計・製作・販売

・同じ部品を大量に効率的に生産できる機械

・単品、大量生産部品がアジアなどの海外生産に移行してから機械自体が製造されていない

・カム式機械を使用する顧客からの受注に対応

製品写真

カム式自動旋盤（型番：NS－P1053）

カム取付後写真

平成 24年 6 月期　決算概要

売上	・昨年12月から今年の3月年度末にかけて量産品・単品加工ともに動きが出て、堅調に推移した。 ・新年度に入り5・6月は量産品が頭打ち傾向を示し、横ばいとなった。 ・単品小ロット品加工は国内製造業の主流となっており、比較的底固いうごきとなり、全社で売上は前期比微増となった。
原価	太陽光発電設備、コレットチャック・切削工具両部門の設備投資かつ5.3億円程あり、減価償却費が増加した。
利益	製造原価の固定費が増加したため、利益率が若干低下した。

人件費

（千円）

	21期	22期
労　務　費	669,045	687,273
コストに占める比率	51.0%	49.4%

設備投資額と減価償却費

（千円）

	20期	21期	22期
設備投資額	225,010	133,667	532,629
減価償却費	233,795	216,881	291,159

部門別売上構成比（千円）

実質機械受注と月次売上高

平成 24年 6 月期　損益の状況

（単位：千円）

	平成 23 年 6 月期			平成 24 年 6 月期			増 減 要 因
		売上構成比	前年同期比		売上構成比	前年同期比	
売上高							
コレットチャック	1,297,902	71.8%	116.3%	1,307,908	69.7%	100.8%	・量産品の標準的な加工は海外生産、国内は複雑な加工・小中ロット品加工と棲み分けができてきた。コレットチャックの注文も標準品と特殊品が半々となり、売上は前期比横ばいとなった。
切削工具	449,133	24.8%	132.4%	512,543	27.3%	114.1%	・切削工具部門は特殊品を拡販することで徐々に顧客数が増加し、相乗効果で再研磨も増加した。
自動旋盤用カム	61,131	3.4%	96.5%	55,786	3.0%	91.3%	
合　計	1,808,168	100.0%	119.1%	1,876,238	100.0%	103.8%	
売上原価	1,030,281	57.0%	111.1%	1,110,145	59.2%	107.8%	・設備増強により固定費が増加した
売上総利益	777,887	43.0%	131.7%	766,093	40.8%	98.5%	・売上原価増により利益微減
販売費及び一般管理費	285,094	15.8%	106.2%	281,473	15.0%	98.7%	
営業利益	492,793	27.2%	152.9%	484,619	25.8%	98.3%	
経常利益	515,503	28.5%	150.6%	513,719	27.4%	99.7%	
当期純利益	301,930	16.7%	153.3%	284,936	15.2%	94.4%	

平成 24年 6 月期　財務の状況

（単位：千円）

事業年度 / 資産	平成23年6月期 金額	平成23年6月期 構成比	平成24年6月期 金額	平成24年6月期 構成比	増減要因
現預金	3,597,488	49.0%	3,453,719	46.9%	・約5億円の設備投資があり利益の積み上げ分を上回り現預金減少
売上債権	415,091	5.7%	427,358	5.8%	・売上増に伴う増加
棚卸資産	184,721	2.5%	205,139	2.8%	・幅広い受注に対して納期対応するため仕掛り在庫を増加した
その他流動資産	20,570	0.3%	18,467	0.3%	
固定資産	3,118,038	42.5%	3,255,633	44.2%	・有形固定資産は263百万円増加、投資その他の資産128百万円減少
資産合計	7,335,911	100.0%	7,360,318	100.0%	
負債・資本					
買入債務	16,204	0.2%	15,940	0.2%	
その他流動負債	255,904	3.5%	125,350	1.7%	・太陽光発電設備を税務上即時償却したため未払法人税等が127百万円減少
固定負債	339,192	4.6%	340,816	4.7%	
負債合計	611,300	8.3%	482,107	6.6%	
純資産合計	6,724,610	91.7%	6,878,210	93.4%	
負債・純資産合計	7,335,911	100.0%	7,360,318	100.0%	

平成 24年 6 月期　キャッシュ･フローの状況

（単位：千円）

	平成23年6月期	平成24年6月期	対前年比増減額	増　減　要　因
営業活動によるキャッシュ･フロー	567,262	488,747	▲ 78,515	主な増加要因：税引前当期純利益　500,871千円、減価償却費 291,159千円 主な減少要因：法人税等の支払額　248,709千円
投資活動によるキャッシュ･フロー	▲ 637,637	▲ 235,596	402,041	主な増加要因：定期預金の純増減額の減少　299,152千円 主な減少要因：有形固定資産の取得による支出　529,321千円
財務活動によるキャッシュ･フロー	▲ 90,098	▲ 97,767	▲ 7,669	全額配当金の支払い額
現金及び現金同等物の増減額	▲ 160,473	155,383	315,856	
現金及び現金同等物の期末残高	1,160,521	1,315,904	155,383	

今後の事業展開 ～ コレットチャック部門

事業環境
◇金属部品加工の微細化・精密化の進展
◇大量生産品や高精度を要求されない部品は海外生産へ
◇工具の売上は機械稼働率とほぼ連動

競合状況
◇国内は数社、中国等の工具メーカーの台頭（納期・品質で不安定）

当社の事業展開
◇専用機・NC旋盤向け特殊コレットチャックの対応力向上
◇顧客の要望の充足、納期・品質の徹底

今後の事業展開 ～ 切削工具部門

事業環境
◇加工複雑化に伴い特殊刃物ニーズ拡大
◇高価な超硬工具普及により再研磨ニーズ増大
◇加工工程短縮・効率化を図るため、高精度の特殊切削工具
　へのニューズが高まる

競合状況
◇市場規模推定250億円
◇メーカー系、工具商社、各地域ごとに中小規模専業多数

当社の事業展開
◇営業地域拡張し、知名度・認知度向上を目指す
◇特殊ものへ対応範囲を拡大し、新たな顧客層の拡大に努める

今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム部門

事業展開
◇カム式自動旋盤（すでに製造中止）は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
◇将来的には減少傾向

競合状況
◇1億円の市場規模で既存の中小企業が継続している

当社の事業展開
◇既存の償却済設備と現状の人員で対応
◇低コスト製造を徹底

部 門 別 売 上 状 況

（単位：千円）

	H18年6月期	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期	H25年6月期(予)
□自動旋盤用カム	144,186	120,416	102,015	57,366	63,345	61,131	55,786	50,000
■切削工具	324,586	442,248	526,353	384,998	339,213	449,133	512,543	650,000
□コレットチャック	1,613,168	1,648,327	1,557,987	1,041,598	1,115,826	1,297,902	1,307,908	1,450,000

輸 出 売 上 状 況

（単位：千円）

	H17年6月期	H18年6月期	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期
輸出販売高	309,453	326,254	330,907	296,331	187,510	211,374	219,034	197,456
国内販売高	1,549,960	1,755,685	1,880,085	1,890,025	1,296,453	1,307,010	1,589,133	1,678,782

	H17年6月期	H18年6月期	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期
輸出/売上高	16.6%	15.7%	15.0%	13.6%	12.6%	13.9%	12.1%	10.5%

部門別状況 ～ コレットチャック部門

売上高（単位：千円）

部門別状況 ～ 切 削 工 具 部 門

売上高(単位:千円)

部門別状況 ～ 自動旋盤用カム部門

売上高(単位:千円)

設 備 投 資 と 減 価 償 却

	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期
設備投資額 (単位:千円)	196,955	513,931	225,010	133,667	532,629

	H20年6月期	H21年6月期	H22年6月期	H23年6月期	H24年6月期
減価償却費 (単位:千円)	194,751	210,917	233,795	216,881	291,159

切 削 工 具 部 門 の 戦 略 と 受 注 状 況

受注体制（人材、設備、社内オペレーション）を万全にする

新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める

切削工具部門の受注状況

	H23/7	H23/8	H23/9	H23/10	H23/11	H23/12	H24/1	H24/2	H24/3	H24/4	H24/5	H24/6
月間受注件数	1171	1185	1199	1273	1311	1114	1057	1342	1,426	1,265	1,286	1,341
新規顧客受注	29	29	24	25	24	18	24	25	35	21	35	29
顧客総数(右軸)	5,248	5,272	5,290	5,305	5,313	5,311	5,316	5,330	5,348	5,366	5,384	5,377

業　績　の　推　移

売上高
経常利益
当期純利益
売上高経常利益率
売上高当期純利益率
単位：百万円
2,500
2,250
2,000
1,750
1,500
1,250
1,000
750
500
250
0
50.0%
45.0%
40.0%
35.0%
30.0%
25.0%
20.0%
15.0%
10.0%
5.0%
0.0%
H3/6
H4/6
H5/6
H6/6
H7/6
H8/6
H9/6
H10/6
H11/6
H12/6
H13/6
H14/6
H15/6
H16/6
H17/6
H18/6
H19/6
H20/6
H21/6
H22/6
H23/6
H24/6

実 質 機 械 受 注 と 月 次 売 上 高